

## 全員協議会会議録(平成21年11月16日開催)

- I 日時 平成21年11月16日(月) 13時～14時55分
- II 場所 滝沢村役場 4階 中会議室
- III 出席者 議長 角掛邦彦、副議長 川原 清  
議員 相原孝彦議員他19名  
村当局 柳村村長、佐野峯総務部長、主浜健康福祉部長、熊谷子育て支援課長、熊谷健康推進課総括保健師、遠藤教育部長、伊藤学校教育指導担当課長、工藤学校給食センター所長、黒沼学校給食センター総括主査、及川上下水道部長、下長料金課長、阿部水道課長、釜沢下水道課長、谷川料金課主任主査、三上税務課長  
事務局 太田局長、高橋次長、勝田主査

### IV 協議

- 1 開 会 太田局長
- 2 挨拶

角掛議長…ご苦労様です。本日は、11月30日の臨時議会と12月定例会関係の協議と午前中に議会運営委員会が開催されましたので後ほど報告があります。現在、議会に関するアンケートを実施しているところですが、回収率が1%に満たない結果となっているところですが、私と副議長においては各種行事の挨拶でアンケート協力を呼びかけておりますので、議員各位におかれましても村民各位にアンケート協力の呼びかけをお願いいたします。当局の案件でもある新型インフルエンザについては後ほど詳しく報告があります。最近新聞にも村内小中学校名が掲載されなくなりましたが議員各位におかれましても体調管理に十分気をつけていただきたいと思います。今日の村の説明事項5件と議会関係でその他を含め3件ですので、宜しくご協議いただければと思います。

柳村村長…ご苦労様です。本日は、副村長は会計検査院の検査、教育長は全国の教育長会議で欠席となりますので宜しくお願いします。お知らせですが、昨年7月に鶉飼小学校で起きた事故についてですが11月13日に示談が成立しました。これに伴い11月臨時議会に補正の議案の提出を考えております。I P U イノベーションセンターの入居に1社申し込みがあり、現在審査中ですが順調に行けば12月1日に入居予定であり、その他の引き合いもあり年度内に全室完売をめざしております。本日案件は、1点目が議会申し入れによる新型インフルエンザの状況についてです。2点目は9月議会で話が出た学校給食センター施設改善事業年度別計画書についてです。3点目は滝沢村水道事業経営審議会の答申と滝沢村下水道事業経営懇談会の意見書を踏まえての上下水道体系の見直しについてで12月議会に上程しまして、平成22年7月から料金徴収するものであります。4点目は固定資産税の還付で10年間の課税誤りによる還付の件であります。5点目は総合計画後期基本計画(案)ですが、ある程度出来ましたので皆様に提示しまして総合計画審議会に諮問するものであり、本日は説明と言うより資料提供の形となります。以上盛りだくさんの説明事項となりますが宜しくお願いします。

### 3 説明事件

#### (1) 村報告事項

- ① 新型インフルエンザの状況について

(説明員：主浜部長、熊谷課長、熊谷総括保健師、遠藤部長、伊藤課長)

新型インフルエンザワクチン予防接種の県内での予防接種時期の前倒しにより、小4～中3が当初12月上旬であったのが11月16日から、1歳～小3が当初12月中・下旬であったのが12月7日から前倒しで実施すると県から公表されました。

※資料により現在までの対応と学校・学区別閉鎖日数等について、細部にわたり説明がなされた。

---

<質疑>

なし

---

② 滝沢村立学校給食センター施設改善事業年度別計画書について

(説明員：遠藤教育部長、工藤所長、黒沼総括主査)

9月議会での提案を踏まえて平成17年度より平成24年度までの施設整備の改善を進めるものであります。

※以上を踏まえて、資料の施設改善事業年度別計画書により細部にわたり説明がなされた。

---

<質疑>

川原副議長…平成24年度までの児童・生徒数の推移について如何見ているか。  
遠藤教育部長…現在のところ村内全体として児童・生徒数の急激な変動は無いと見ているが、住宅団地の造成に伴い滝沢小学校の学級数は増える予定である。

---

③ 滝沢村上下水道料金体系の見直しについて

(説明員：及川部長、下長課長、阿部課長、釜沢課長、谷川主任主査)

11月6日の村水道事業経営審議会の答申と村下水道事業経営懇談会の意見書を踏まえて見直しを実施するものである。

水道料金体系見直しの基本的な考え方

1. 基本水量制は廃止が望ましい。
2. 従来の「別途別料金体系」を廃止し、個別原価主義の観点から「口径別料金体系」への移行が望ましい。
3. 「基本料金」と「従量料金」からなる二部料金体系とするべきである。
4. 料金体系の見直しにともない、現利用者の負担が大きく変化する場合は、激変緩和措置を行うなどの配慮が必要であると考え、このため暫定措置として一定の期間、基本水量付も併用するなどの検討も必要と思われる。
5. 料金積算する方法は別に定める「滝沢村水道料金算定要領」に基づくものとする。

現在の厳しい社会情勢を鑑みると、値上げを伴う単価改定は困難であり、今回は上水道との料金体系の整合をとることに主眼を置くべきとの結論に達した。

#### 下水道料金体系見直しの基本的な考え方

1. 基本水量制は廃止が望ましい。
2. 「基本料金」と「従量料金」からなる二部料金体系が望ましい。
3. 従量料金については、現行の逦増制が望ましい。
4. 料金体系の見直しにともない、現使用者の負担が大きく変化する場合は、激変緩和措置を行うなどの配慮が必要であるとする。このため、暫定措置として一定の期間、基本水量付与も併用するなどの検討も必要と思われる。

#### 農業集落排水施設料金体系見直しの基本的な考え方

下水道使用者との均衡を考慮し、現行の料金体系及び積算単価とすることが妥当と考える。

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

#### <質疑>

長内議員…料金体系の基本的考えは理解できるが減価償却費については、管の償却年数40年であるが設備更新が料金体系に反映されていないと見るが如何か。

及川部長…資料10ページの減価償却費の算定要領で見ても40年ですが現地を見て使えるものは使っていく計画である。

長内議員…耐用年数については概ね理解しましたが、大規模投資について料金の見直しの中に担保されているのかと減価償却の部分を積み立てているのか確認したいが。

及川部長…財政計画で考慮しての結果である。後で財政計画をお示ししたい。

長内議員…納得しないが、後で財政計画をお示しするのであればであるが、これを見た限りでは見えない。

柳村村長…今回の答申の中に入っている訳で、昭和49年に始まって以来の大規模な見直しである。料金をトータルで考えるのである。トータルで収入が減る4年間で見直ししていくのである。資本費に対して2.5%の利益を確保することになっている。今後4年間を見据えての収支である。

長内議員…でこぼこの料金体系にするとお互い困るんでしょうから、いわゆる設備更新の部分を長期で見通して何%を付加して行くという見通しで4年ごとに改定して行くのであれば良いという部分が皆様に解れば良いと思う。これにより水道経営がギクシャクしなければ良いと思ってお聞きしたまでです。乖離が無いですけれども、その部分を確認したい。

及川部長…11ページの(4)ーロ 資本報酬 維持すべき資本に2.5%を乗じて算定した額としているのでご理解をお願いします。

柳村議員…口径13mmと20mmには経過措置で基本水量5㎡にした理由は。

及川部長…資料13ページの左の13mmで見ると48パターンのシュミレーションで激減緩和の為に口径13mmと20mmを10㎡から5㎡にした。今回は用途別を廃止したという意義を持つ事でこの制度になれていただくことにある。

柳村議員…それでは4年ごとに基本水量の見直しがあると言う事か。

及川部長…4年ごとに見直しをすることとしているので、皆様と議論して行きたい。

武田(猛)議員…8ページ激減緩和になるのか一般家庭にしわ寄せがくるのか説明

をお願いしたい。

及川部長…一般家庭で13mmと20mmが8割から9割がたであるので、その中でのやり取りであり、しわ寄せにならない。全国的に径の太さでなっているのでこれに合わせて改正するものである。

武田(猛)議員…料金体系見直しの基本的な考え方5点述べているが、この文章では理解できない点があるので審議会の議事録などで理解したいが、12月議会に上程するであればもっと中身がわからないと困るが。

及川部長…私の説明が下手だったのかもしれないが8ページの中味を更に噛み砕いて説明したつもりでしたが、もう少し詳しく資料を近い時期にこの部分の説明を資料でご提示したいと思いますので時間をいただきたいと思います。

長内議員…資本報酬の部分で2.5%で40年で確かに2.5%で高くなるが、我が村では既に耐用年数を迎えてどんどんきている中で2.5%の基準で足りないのでは5%や7%の部分があるのではないか。8億で更に料金体系が減っているが、それで本当に担保されるのか。

及川部長…減価償却費は別に見ているので資本報酬については国では標準は3%である。村では余裕があるので3%でなく2.5%の財政計画である。きちんとした財政計画を立ててのパーセントである。

角掛議長…12月定例会で条例改正が提案されることから、本会議の場もありますので質疑はこの程度で終わりしたいと思います。

武田(俊)議員…この料金改定で値下がり件数と値上がり件数は。

及川部長…13ページの表になる。例えば13mmで5㎡以下が1,470件値下げという形になります。トータルでは出していませんが㎡で示しております。

---

【休憩14時09分～14時15分】

---

④ 固定資産税の還付について

(説明員：佐野峯部長、三上課長)

平成16年度から村内地区ごとに土地課税の現況調査を実施しておりまして、本年度については元村地区を実施したが、これにより課税誤りが判明した。

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

---

<質疑>

なし

---

⑤ 滝沢村総合計画後期基本計画(案)について

(説明員：佐野峯部長)

平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)の基本計画であり、基本政策として、将来投資領域(夢のある発展)・基本事業領域(生きがいと安心の生活)・住民協働支援領域(絆と潤いのある生活)・庁内支援領域(豊かさを実感できる行政)からなる。

※以上を踏まえて、資料により説明がなされた。  
なお、細部については11月24日から26日の間で会派説明したいので日程調整を宜しくお願いします。

---

<質疑>  
なし

---

(2) 議会関係事項

① 議会運営報告について

山谷議会運営委員長より、議会運営委員会報告書により説明がなされた。

---

<質疑>  
なし

---

太田局長より、発議第1号 滝沢村議会の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正することについて詳細の説明がなされた。

---

<質疑>

鎌田議員 滝沢村議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の付表の表について理解できないが。

太田局長 この表につきましては、自治法の改正の時に議会部分は別になったために村長部局の特別職との表現の関係により、この様な表現となりました。

高橋(寿)議員 「39,000」の次に「円」を加えるについて理解できないが。

太田局長 前の条例の流れで「39,000」の次に円を加えた、解りづらいが例規の関係でこの表現となります。

武田(猛)議員 表を見ると村の一般職の職員の期末手当について、国と県で格差があるが村は国と県のどちらに合わせるのか。

太田局長 議員が言うように県と国では違いがあり過ぎます。当方としては国の一般職と特別職の例に合わせて議員の期末手当0.1月減額といたしました。

武田(猛)議員 他の市町村の一般職の期末手当で県に合わせたところがあるようだが、県の基準となるのであれば、また改正があるのか。

太田局長 村長部局から聞くところによると国に準じると聴いております。

角掛議長 発議第1号を11月30日の臨時議会で副議長の提出者で議員全員で提出することによろしいでしょうか。

議員一同 異議なし。

---

太田局長より、発議第2号 電源立地地域対策交付金制度の交付期限延長等を求める意見書について詳細の説明がなされた。

---

<質疑>  
なし

角掛議長 発議第2号も11月30日の臨時議会で副議長の提出者で議員全員

で提出することによろしいでしょうか。  
議員一同…異議なし。

---

- ②平成21年第2回盛岡地区衛生処理組合議会定例会報告書  
相原議員より、資料に基づき説明がなされた。
- 

<質疑>  
なし

---

- ③その他 (太田局長より説明する)

- ・旭日双光章 田沼 齐氏 並びに滝沢村村勢振興功労者 鎌田 裕氏 勝田 肇氏の表彰受章記念祝賀会について
  - ・全国町村議会議員互助会から、団体医療保険の案内について
  - ・本音で語ろう県議会、平成21年度岩手県分権推進セミナーについて
  - ・村ホームページへの「お問い合わせ」の件について
  - ・議場改修の件について  
11月26日に完成予定 11月30日臨時議会前の午前9時30分より議場放送の取り扱い説明を行います。また、12月4日全員協議会終了後に全体システムの説明会を行います。
  - ・岩手県町村自治名鑑の配布について
- 

<質疑>  
なし。

---

4 閉 会 太田局長 (終了14時55分)